

令和3年度「一般入学者選抜」  
学力検査 数学科 出題方針

- 1 学習指導要領に基づき、数学の基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けているかをみることができるようにする。
- 2 多面的にものを見ることや論理的に考えることの基となる、数学の理解力をみることができるようにする。
- 3 事象を数理的に考察し処理するための判断力及び表現力をみることができるようにする。
- 4 数学的な見方や考え方を総合的に活用するための思考力をみることができるようにする。

令和3年2月24日(水)

## 令和3年度本検査「数学」学力検査について

### 1 問題構成

全体の構成については、昨年度の前期選抜と同じで変更はない。大問は1から5まであり、それぞれの内容は、次のとおりである。

大問1	： 小問集合(数と式の計算)	(30点)
大問2	： 小問集合(各領域における基本問題)	(25点)
大問3	： 関数	(15点)
大問4	： 図形の証明、平面図形	(15点)
大問5	： 総合問題(式の活用)	(15点)

### 2 領域及び分野

領域及び分野は、次のとおりである。なお、中学校の臨時休業の実施等を踏まえた配慮により、中学校第3学年で学習する内容のうち、「標本調査」の単元を出題範囲から除いた。

#### 「数と式」(50点)

数と式の計算	： 大問1(1)(2)(3)(4)(5)(6)
文字式の利用	： 大問2(2)
式の活用	： 大問5(1)(2)(3)

#### 「図形」(25点)

平面図形	： 大問2(5)、大問4(2)
空間図形	： 大問2(3)
図形の証明	： 大問4(1)

#### 「関数」(15点)

関数 $y = ax^2$	： 大問3(1)(2)①②
---------------	---------------

#### 「資料の活用」(10点)

代表値	： 大問2(1)
確率	： 大問2(4)

### 3 出題内容及び予想平均点

大問1は、数と式の計算の内容に関する基本的な問題である。

大問2(2)は、数量の関係を不等式で表す問題である。大問2(4)は、2つのさいころの出た目の数に対応して定まる値が、整数となる確率を求める問題である。大問2(5)は、与えられた条件を満たす円の中心を作図によって求める問題であり、作図の基本的技能が身に付いているかどうかをみるための出題である。

大問3(2)②は、平行四辺形が与えられた条件を満たすとき、その頂点の座標を求める問題である。

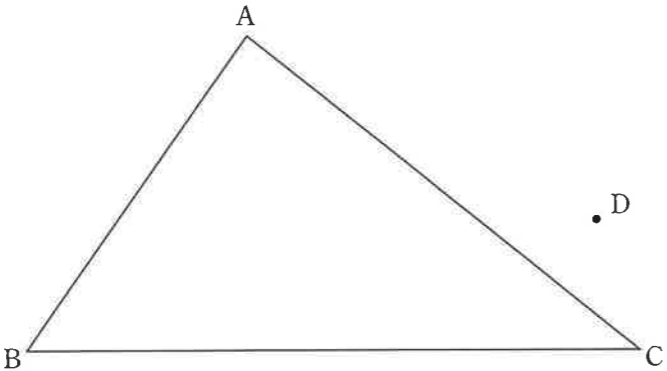

大問4は、円周角の定理と平行線の性質を利用し、三角形の相似を証明する問題である。

大問5は、自然数を規則に従って並べたときに成り立つ性質に関する問題である。題意を的確に読み取り、思考し、判断し、表現する力を問う問題となっている。

予想平均点は、50点から55点で、昨年度の前期選抜(平均51.4点)と同程度と考えている。

(問い合わせ先) 千葉県総合教育センター学力調査部 電話 043-212-7588 / 7599 FAX 043-212-7598
---

答えは、全てこの解答用紙に書き、解答用紙だけ提出しなさい。

1	(1)		(2)	
	(3)		(4)	$x = \quad , y = \quad$
	(5)		(6)	$x = \quad$
2	(1)		(2)	
	(3)		(4)	$\text{cm}^2$
	(5)			
3	(1)			
	(2)	①	$\text{cm}^2$	②

4	(1)	(a)	(b)
	(2)	(c)	
	(3)	cm	
5	(1)	(ア)	(イ)
	(2)		
	(3)	組	
受検番号		氏名	総得点